

Entry Points Pro 10 — ユーザーマニュアル（『トレーダーズ・バイブル』）

私はユーリーと申します。Entry Points Pro の作者です。まずは、私を信頼してくださったことに心から感謝し、正しい一歩を踏み出されたことをお祝い申し上げます。あなたの手元にあるのは素晴らしい実戦ツールです。本書はその正しい使い方をお教えし、相場取引の大切な秘訣を明かします。このインジケーターは、日々のトレードにおける頼れる相棒として、あなたの取引戦略の補完にも、その土台にもなってくれるはずです。

最初にはっきり申し上げておきます。Entry Points Pro は聖杯でも、楽にお金が入る魔法のボタンでもありません。最大限の成果を得るには、その仕組みと使い方を理解する必要があります。私と私の経験を信じてください — 利益の出るトレードへの最短ルートを見つけるお手伝いをします。ただし、まずは軽いショック療法から始めましょう。私はあなたに対して正直でありたいので、他の誰も語らないことをお話しします：

- **聖なる聖杯は存在しません。** 聖杯とは、常に利益をもたらしてくれる魔法の手法のことです。私は1999年からトレードを続けており、この件については多少の知見があります。どうか私の言葉に耳を傾けていただけることを、心から願っています。
- **すべてのインジケーターは価格の後を追います。例外はありません。** 未来を予言するインジケーターは存在しません。そう主張する者がいるなら、それは嘘です。
- **トレードは職業であり、矢印を追いかけるゲームではありません。** 本書を最後まで読み通してください — トレーダーたちが本書を『トレーダーズ・バイブル』と呼ぶのには理由があります。どの章も重要です。

本書は著作権の対象です。著者の同意なく本書の全部または一部を複製・配布することは違法であり、法により追及されます。

1. インストール

取引口座とターミナル

バージョン10のインジケーターは、取引プラットフォーム **MetaTrader 5** 上で動作します（MT4版は販売終了となっており、相互互換性はありません）。すでにMT5の口座とターミナルをお持ちなら、そのままインストールへお進みください。まだの場合は、ブローカーを選んで口座を開設し、**MetaTrader 5** をダウンロード・インストールして口座に接続してください。個人的な経験からは、ブローカー **Grand Capital** をおすすめできます：複数の地域でライセンスを取得しており、暗号通貨の24時間365日取引を含む豊富な銘柄を扱っています。とはいえ、MT5に対応したブローカーならどこでも構いません — 重要なのはターミナルだけです。

インジケーターのインストール

1. **ML5 Market** でインジケーターを購入し、ターミナルにインストールします（購入ページの「インストール」ボタンを押すと、ターミナルのナビゲーターウィンドウの **Market** セクションにインジケーターが表示されます）。
2. 取引したい銘柄のチャートを開き、ナビゲーター（**Ctrl+N**）からインジケーターをチャートヘドラッグします。
3. すべて正しくできていれば、すぐに情報パネルとチャート上のシグナルが表示されます。パネルは7か国語（英語、ロシア語、スペイン語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、ポルトガル語）に対応し、ターミナルの言語に合わせて自動で切り替わります。日本語には現時点で対応していないため、日本語のターミナルではパネルは英語で表示されます — 各項目の意味は本書の第4章ですべて日本語で解説していますので、ご安心ください。
4. インジケーターを載せたテンプレートを **default** という名前で保存してください — 以後、新しいチャートを開くたびに、最初からインジケーター付きで表示されます。

重要：新しい銘柄で初めて起動したときは、タイムフレームを一度切り替えて元に戻してください。ターミナルがヒストリーを読み込み、パネルにデータが表示されるようになります。

[スクリーンショット：チャート上のインジケーター — パネル+矢印+エントリーレベル]

2. クイックスタート — 3ステップで取引する方法

1. **矢印を待ちます** — ローソク足の確定を待ってください（琥珀色のマーカーが「シグナル形成中」と事前に知らせてくれます）。インジケーターが価格付きのエントリーレベルを描画します。
2. **レベルのブレイクでエントリーします**。私のおすすめは、レベル上にあらかじめ逆指値注文（Buy なら Buy Stop、Sell なら Sell Stop）を置くこと — ブレイクの瞬間にエントリーが自動で執行され、チャートに張り付く必要がありません。ストップロスは、オレンジ色のラインが示すレベルの外側へ。ロットは、あなたのリスクに基づいてパネルが計算済みです。
3. **反対シグナルまで保有します** — または、ご自身のストップに沿ってトレードを管理してください。どちらのシナリオもパネルで集計されています（Exit on signal / Exit on stop） — ご自分のスタイルを選んでください。

本書の残りの部分では、各要素を詳しく説明します。読み飛ばさないでください — すべての疑問への答えがここにあります。

3. シグナルが生まれる仕組み（手法の核心 — 必ずお読みください）

一番大事なことを覚えてください：**矢印はまだエントリーではありません。エントリーはブレイクしたときだけです。**

1. **琥珀色のマーカー（早期警告）**。まだ確定していない現在のローソク足で、シグナルの条件が形成されつつある状態です。インジケーターは琥珀色の「Buy/Sell — 確定待ち」マークを表示し、早期アラートを発します。これは、状況を評価しリスクを計算する時間の余裕を持っていたためだけの予告です。足の確定までに条件が確認されなければ、マーカーは取り消されます。これはリペイントではありません：予告はそもそもシグナルではないからです。
2. **矢印（確定シグナル）**。ローソク足が確定し、条件が確認されると、チャートに色付きの矢印（緑の Buy／赤の Sell）が現れ、確認アラートが鳴ります。**この矢印は決して消えたり動いたりしません** — 自動テストで検証済みです：数百万回のチェックで違反はゼロでした。
3. **エントリーレベル**。矢印と同時に、インジケーターはシグナル足の極値（Buy なら高値、Sell なら安値）に価格ラベル付きのラインを描きます。これがあなたのエントリーポイントです：レベルにストップ注文を置くか、ブレイク時に成行でエントリーしてください。
4. **ブレイク＝エントリー**。次の足がレベルをブレイクすれば、エントリー成立です。パネルには「ポジション保有中」のステータスが表示されます。
5. **ブレイクなし＝キャンセル**。次の足がレベルをブレイクしなかった場合、エントリーは成立せず、矢印はグレーになり、パネルの **CANCELLED** カウンターが増えます。あなたは1ポイントも失っていません：市場が動きを確認しなかったため、フィルターが弱いシグナルをふるい落としたのです。これこそが「リペイント批判」への答えです：シグナルは消えていません — 正直にキャンセル済みと印が付き、その理由まで見えるのです。
6. **反対シグナル＝手仕舞い**。このシステムは「トレンドが反転するまで保有する」という原則で動きます。反対方向の矢印が現れたら、それが現在のトレードの正規の決済ポイントです（希望すれば、ドテンのポイントにもなります）。

[スクリーンショット：一連の流れ — 琥珀色マーカー → 矢印 + エントリーレベル → ブレイク → 隣にグレーになった例]

また、シグナル足がその銘柄・タイムフレームにとって**異常に大きい**場合も、シグナルはキャンセルされます。そのような足の後のエントリーは、巨大なストップを抱えた出遅れエントリーであり、システムはこれをスキップします。これは安全のための仕組みです：バージョン10では、フィルターがあらゆる銘柄のボラティリティに自動で適応します — ゴールドもビットコインも株価指数も、何も設定せずそのまま動きます。

忘れないでください：Entry Points Pro はインジケーターであり、自動売買のEAではありません。取引の開始も終了も行いません：判断し実行するのはトレーダーであり、結果に責任を負うのは常に行動した本人です。インジケーターはポイントを示します — トレードするのはあなたです。

4. インジケーターのパネル

パネルはマウスでチャート上の好きな場所へドラッグでき、「-」ボタンでロゴ1行に折りたためます。セクションを上から順に見ていきましょう：

STATISTICS, DAYS: 90

- **Signals** — 統計期間中（デフォルト90日、変更可能）にインジケーターが出した確定シグナルの数。
- **Cancelled** — キャンセルされたシグナルの数（ブレイクが起きなかったもの）。キャンセル分はWIN/LOSSにも勝率にも含まれません。
- **WIN/LOSS** — 反転による手仕舞いを前提とした、勝ちシグナルと負けシグナルの比率。

SUCCESS RATE

エントリーは全員同じでも、トレードの管理は人それぞれです。だからこそパネルは、同じシグナルの流れを**3つの決済シナリオ**で集計します：理想形（シグナルによる決済）と、現実的な2つ（選択したタイプのストップによる決済）です。

- **Exit on signal** — 理想的な管理をした場合の勝率：すべてのトレードを反対シグナルまで保有します。この手法の上限であり、チャート上の色付きの長方形はまさにこの方式で描かれています。
- **Exit on stop** — 同じトレードを、選択したモードのストップロス付きで行った場合の勝率：ストップに触れたトレードは負けとして数えます。ストップを使って取引する人のための正直な数字です。
- **Min. profit** — シグナルによる決済を前提とした、完了した全シグナルの正味合計結果（利益から損失を引いたもの、ポイント単位）。なぜ「最小」なのかは、後ほど説明します。

RISK & LOT

- **Choose your SL type** — ストップを選ぶ2つのボタン：**Signal candle**（シグナル足の極値の外側）と **Local extremum**（直近数本のスイングの外側）。違いはシンプルです：ローソク足ストップは短く、1回のミスあたりの損失は最小ですが、狩られる頻度は高め。極値の外のストップは長く、相場と一緒に呼吸するので発動は少ないものの、発動1回あたりのコストは高くなります。ロット計算機が、両モードの金額ベースのリスクを同じに揃えます。あなたの銘柄でどちらが良い結果を出すかは、推測しないでください：ボタンをクリックすれば、**Exit on stop**、ストップ幅、ロットが即座に再計算されます。選択は銘柄ごとに記憶されます。
- **Risk / Lot** — 次のトレード用に計算済みのロット： $\text{リスク\%} \times \text{証拠金} \div \text{ストップ幅}$ 。例：「Risk 1.0% · \$1 000 → Lot (SL 27 pt): 0.37」。

SIGNAL STATUS

「今まさに何が起きているか」を示すライブ表示です：

- シグナル待機中... — 条件が揃っていない状態。何もしません；
- **Buy/Sell** — 確定待ち（琥珀色） — シグナル形成中；
- **Buy/Sell** — エントリー：価格 — シグナル確定、レベルのブレイク待ち；
- **Buy/Sell** — ポジション保有中 — ブレイク成立、トレード進行中；
- 市場クローズ — 取引セッションが動いていない状態。

ルール：トレードはパネルのステータスに従って行ってください。チャートの矢印は過去の記録、ステータスがあなたの「今」です。

LEGEND

表示の凡例（琥珀色／緑／赤／グレー）です。覚えてしまったら、設定 **Show legend** でオフにしてください — パネルが短くなります。

[スクリーンショット：パネルの拡大表示と各セクションの説明]

5. ストップとトレード管理

初期ストップは常にシグナル足の外側（**Signal candle** モード）に置くことをおすすめします — 潜在的な損失が最小であり、事前に確定しているからです。

このインジケーターを使う上での私の最重要原則：エントリーしたら、価格が守りを固めるチャンスくれた瞬間に、ストップを建値（ブレイクイーブン）へ移動します。この時点から私は何もリスクを負わず、トレードはどこまでも伸ばせます — こうして稼ぐチャンスを最大化するのです。私はほぼ毎回こうしていますし、あなたにもそうすることを勧めます。

インジケーターが示す手仕舞いは目安です：その本領は完璧なエントリーポイントにあります。多くの場合、チャートの記録が示すより遅く決済したほうが、より多く稼げます — だからこそ統計は「最小利益」と呼ばれるのです：これは最も保守的なシナリオでの結果です。トレードの管理と決済は、トレーダー自身とその取引システムの裁量に委ねられます。シグナルは上位タイムフレームと照らし合わせてください：上位からの確認＝より大きな勢いとポテンシャルです。

なぜ利益が「最小」なのか — 千の言葉より1枚のスクリーンショットを：

 **MIN PROFIT：**チャートの記録は+107ポイント、価格はその後さらに900ポイント以上進んだ

GBPJPY H4：インジケーターの記録はこのトレードで+107ポイントを確定させました — **MIN. PROFIT** の統計に入ったのは、ちょうどこの分だけです。しかし価格はその後、トレンドに沿ってさらに900ポイント以上進みました。トレードを管理したトレーダー — ストップを建値に移し、トレンドに沿ってポジションを引っ張った人 — は、「最小値」の何倍も獲得しました。覚えてください：**MIN. PROFIT は床であって、天井ではありません。**最も保守的なシグナル取引でもこれだけ取れたという数字であり、その上に積み上がる分はすべて、あなたのトレード管理の腕前です。

6. 統計：どう読むか、なぜ信頼できるのか

作業タイムフレームの選び方

あなたの銘柄のチャート上で、そのままタイムフレームを順に切り替えて — M5、M15、M30、H1、H4 — パネルを見比べてください。あなたの作業タイムフレームは、**高い勝率と十分なシグナル数**が両立するところです。パネルは切り替えのたびに再計算されます — 「バックテスト」全体が1分で終わり、ストラテジーテスターは不要です。

実務的な注意点：長期間の統計計算は、かなりの計算量になります。設定 **Statistics, days** の日数を小さくするほど、タイムフレーム切り替え時の再計算が速くなります。デフォルトの90日は、速度と信頼性のバランスの取れた値です。

そして忘れないでください：過去は未来を保証しませんが、優れた道しるべを与えてくれます — まして **Entry Points Pro** が使っているのは市場の基本特性です。それが機能しなくなるより先に、市場そのものが消滅するでしょう。

- 統計は**あなたのチャート上**で計算されます：銘柄、タイムフレーム、期間 (**Days**)。銘柄やTFが違えば、数字も違います。これはバグではなく仕様です：あなたが見るのは、これから取引しようとするまさにその場所の実際の統計であって、宣伝用のスクリーンショットではありません。
- チャート上の**色付きの長方形**はシグナルではなく、完了した各シグナルの結果の視覚的な記録です（エントリーから反対シグナルまで、ポイント単位の損益付き）。トレードが完了した後に事後的に表示されます — それが設計どおりの動作です。その間、取引用の矢印は決してリペイントされません。
- **Min. profit** — 全結果のポイント合計、正味の値です（損失は差し引き済み）。スプレッドとスリッページは考慮されません — これはシステムのポテンシャルの目安であり、銘柄やタイムフレーム同士を比較するためのツールです。
- 分足チャートで **Days** をあまり大きくしないでください：数万件のシグナルの統計計算はターミナルを遅くすることがあります。

7. アラート

インジケータは2段階で通知します：**早期アラート**（シグナル形成中、足は未確定）と**確認アラート**（足が確定し、チャートに矢印が表示）。重複は自動的に除外されます。利用できるチャンネル：ターミナル内のポップアップ (**Alert popup**)、スマートフォンへのプッシュ通知（ターミナルで **MetaQuotes ID** を設定：Tools → Options → Notifications（ツール → オプション → 通知））、サウンド（任意のファイル — **Sound file** パラメータ）。

8. 設定（バージョン10の全パラメータ）

SIGNALS

- **Max signal candle size, points (0 = auto)** — 異常に大きいシグナル足のフィルター。デフォルトの0は自動モード：インジケータがあらゆる銘柄のボラティリティに自動で適応します（ゴ

ールド、暗号通貨、株価指数 — 設定不要でそのまま動きます)。手動で管理したい場合は、旧バージョンと同様にポイント数を指定してください。

- **Early warning on the forming candle** — 形成中の足での琥珀色マーカーと早期アラート (true/false)。

PANEL & STATISTICS

- **Show statistics panel** — パネル全体の表示／非表示。
- **Statistics period, days** — 統計期間 (日数、デフォルト90)。
- **Show legend** — パネル内の LEGEND ブロック。
- **Show live guidance** — チャート上のエントリーレベル＋ライブステータス。
- **Warn on abnormal spread / threshold** — スプレッドが通常より広いときの警告 (しきい値は「通常の何倍か」)。ブローカーがスプレッドを広げた瞬間のエントリーから守る機能です。
- **Win/Loss/Panel text color** — お好みとチャートのテーマに合わせた色設定。

RISK & LOT

- **Risk per trade, %** — 1トレードあたりのリスク (デフォルト1%)。
- **Deposit (0 = real balance)** — ロット計算用の証拠金；0 = 口座の実際の残高を使用。
- **Local extremum lookback, bars** — 同名のストップモード用の、直近極値を探す範囲 (デフォルト6バー)。

ALERTS

- **Alert popup / Push notification / Sound / Sound file** — 通知チャンネル。

ADVANCED

- **Intraday signals from / until** — インジケーターの稼働時間。**M15以下のタイムフレームでのみ有効です** (M30以上では、シグナルは24時間出ます)。デフォルトは09:00–19:00 — 欧州・米国の活発なセッションです。分足でも24時間シグナルが欲しい場合は、00:00 と 23:59 を設定してください。
- **Trend filter / Draw trend filter line / Trend filter period** — 内蔵トレンドフィルター。オンにすると、インジケーターはトレンドに逆らうシグナルを無視します：価格がフィルターラインより上なら買いのみ、下なら売りのみ。逆張りをしない人のための保守的なモードです。

9. FAQ — よくある質問への回答

1. チャートに Buy/Sell の矢印があるのに、パネルは「シグナル待機中」。なぜですか？

チャート上の矢印は過去のシグナルで、すでに完了したか、進行中のものです。パネルは今この瞬間の状態を示します。トレードはパネルのステータスに従い、矢印は過去の記録と考えてください。

2. シグナルで正しくエントリーするには？

エントリーは矢印ではなく、シグナル足の極値（Buy なら高値、Sell なら安値）のブレイクで行います。インジケーターが価格付きのラインでレベルを描きます。作者のおすすめ：レベル上に逆指値注文を置くこと — ブレイクの瞬間にエントリーが自動で執行されます。チャートを見ていられるなら、成行でも構いません。

3. グレーの矢印は何を意味しますか？

トレードにならなかったシグナルで、理由は2つのうちのどちらかです。1つ目：次の足がエントリーレベルをブレイクせず、市場が動きを確認しなかった（この数はパネルの **CANCELLED** カウンターが数えます）。2つ目：シグナル足が異常に大きく、エントリーすれば巨大なストップになるため、ブレイク確認の前に自動フィルターがはじいた（第3章参照）。どちらの場合もトレードは開始されていません — つまり損失ではありません。グレーのシグナルは **WIN/LOSS** に含まれません。

4. 色付きの長方形が後から表示されます。これはリペイントですか？

いいえ。長方形は完了したシグナルの視覚的な統計であり、事後に表示されるのが正しい動作です。取引用の矢印は決してリペイントされません。

5. インジケーターはシグナルをリペイントしますか？

いいえ。確定した矢印は足の確定時に置かれ、動きません（自動テスト：数百万回のチェックで違反ゼロ）。琥珀色のマーカーは早期警告であってシグナルではありません：足の確定までに条件が確認されなければ、取り消されることがあります。

6. Exit on signal と Exit on stop の違いは何ですか？

シグナルの流れは1つ、管理シナリオは2つです：反対シグナルまで保有する（長方形はこの方式で描かれます）か、ストップ付きで管理する（ストップに触れたら負け）か。どちらの数字も、あなたのチャートの実際のヒストリーで計算されます。

7. Signal candle と Local extremum のボタンは何を変えますか？

ストップの置き方です：シグナル足の外側（短い）か、直近の極値の外側（広いが狩られにくい）か。クリックすると **Exit on stop**、ストップ、ロットが即座に再計算されます。選択は銘柄ごとに記憶されます。

8. パネルのロットはどうやって計算されていますか？

$\text{リスク\%} \times \text{証拠金} \div \text{ストップ幅}$ 。リスクと証拠金は設定で指定します（証拠金0 = 実残高）。ストップは選択中のモードによります。リアルタイムで再計算されます。

9. Min. profit とは何ですか？

統計期間中に完了した全シグナルの、シグナル決済ベースでの正味合計結果（ポイント単位）です。ポテンシャルの目安であり、スプレッドとスリッページは含まれていません。

10. 私のパーセンテージが他人のスクリーンショットと違うのはなぜですか？

統計は、あなたの銘柄、タイムフレーム、期間で正直に計算されます。銘柄が違えば数字も違います。あなたが見ているのは、これから取引しようとするまさにその場所の本物の統計です。

11. パネルの縦が長すぎます。何を隠せますか？

「-」ボタンでパネルをロゴ1行に折りたためます。Show legend = false で凡例ブロックが消え、パネルが短くなります。ステータス、統計、ロットは残ります。

12. ポジション保有中なのに、パネルはもう「シグナル待機中」と表示しています。何か見逃しましたか？

反対の矢印なしにステータスが変ったのなら、価格が選択中モードのストップに達したか、トレンドラインが反転した（決済条件）かのどちらかです。あなた自身も手仕舞いすべきタイミングでないか、確認してください。

13. 売りポジションを持っているのに、買いシグナルが出ました。どうすればいいですか？！

売りを閉じてください。反対シグナルこそが正規の手仕舞いです：このシステムはトレンドが反転するまでトレードを保有し、新しいシグナルは反転を意味します。その先はお好みで：新しいレベルのブレイクで買いにドテンするか、見送るかです。

14. 分足チャートで夜間にシグナルが出ません。故障ですか？

いいえ。M15以下のタイムフレームには稼働時間が適用されます（デフォルト09:00–19:00）— 分足の夜間のレンジ相場は口座を溶かすからです。24時間動かしたい場合は、設定で 00:00 と 23:59 を指定してください。

15. パネルは何語で表示されますか？日本語にできますか？

パネルは7か国語に対応しています：英語、ロシア語、スペイン語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、ポルトガル語。日本語はまだ対応していないため、日本語のターミナルではパネルは英語で表示されます。言語はターミナルの言語に合わせて自動選択され、個別の設定項目はありません。ターミナルの言語を変更したい場合は、メニュー **View** → **Languages**（表示 → 言語）で選択し、ターミナルを再起動してください。なお、Buy / Sell / WIN / LOSS といった取引用語は、どの言語でも英語のままです — これはトレードの国際共通語であり、シグナルやアラートで目にするのもまさにこれらの単語です。

10. ルールと推奨事項（1999年からの実践で導き出したもの）

注意深く読み、従ってください。保証します：これらを破るたびに、あなたは市場から罰を受けることになります。

- システムのルールを固く守りつつ、市場と銘柄の挙動が変わったときにはパラメータを変える柔軟さを持ってください。
- ティルト（感情の暴走）の存在を忘れず、その訪れを早めに察知できるようになってください。
- ティルトに逆らって取引しないよう努めてください。トレンドフィルターをオンに：価格がラインの下なら売りのみ、上なら買いのみです。
- 価格の反転を捕まえようとしないでください — それができるのはプロだけです。
- 価格の振る舞いを学び、レベル（価格水準）に注目してください（ボーナス章参照）。
- 売り手と買い手の力を見極め、幸運を当てにした衝動的なエントリーをしないでください。
- 規律を守ってください。厳格な規律 = 安定した収益の成長。実証済みです。

- 感情と欲をコントロールしてください。これは数あるトレードの1つに過ぎません：どのトレードも、プラス方向にもマイナス方向にも、その日の結果を根本から左右してはいけません。
- トレード日誌をつけてください — ミスを冷静に直視し、繰り返さないための助けになります。
- 戦略から戦略へ渡り歩かないでください（いわゆる「システムの浮気」）。聖杯はあなた自身の中にあり、**Entry Points Pro** はあなたの最良の道具です。
- 最大の負けトレードが、最大の勝ちトレードを超えてはいけません。
- 損切りは素早く。価格が逆行したら退出し、マイナスを育てないでください。
- 祈りと希望は忘れてください：あなたが何を期待していようと、市場には関係ありません。
- ニュースで取引しないでください。ただし発表時刻は把握しておくこと — マーケットメイカーはあなたを罠にかけるためなら何でもします。特に注意すべきは **Nonfarm Payrolls**（毎月第1金曜日）：非常に強い値動きになることがあります。
- 待つことを学んでください。退屈しのぎのエントリーは、資金を溶かす一直線の道です。
- 損失を平静に受け入れることを学んでください。負けトレードは誰にでもあります。課題は、勝ちの方を多くすることです。
- 価格が長く止まったら、手仕舞いを検討してください：分配か買い集めが進行中です。はっきりするまで待ちましょう。
- 少しずつ稼いでください。私の最初の目標は、**S&P** で1日20ティック — **\$250** でした。1年なら、再投資なしでも **\$60 000** になります。
- 一発の大勝ちを当てにせず、レンガを1つずつ積んで帝国を築いてください。トレードは仕事です。
- 同じ型のトレードを繰り返して腕を磨いてください：トレードは、大工や陶芸家と同じ職人仕事です。
- 分析をこねくり回して延々と迷わないでください：トレードを開かない限り、利益は生まれません。
- 市場の前では誰もが平等です — その日の結果を決めるのは、あなたの振る舞いだけです。
- 私のルールに従ってください — きっとうまくいきます！

11. ボーナス：機能する「レベル」

注目すべき重要な価格レベルについてお話しします — これは強い市場参加者たちのコミュニケーション言語であり、プロはまさにこれを頼りにチャートを読みます。

どんな市場にも、参加者は2者しかいません — 買い手と売り手です。価格が上がるのは、買い手が勝っているからです：現在の価格の売り物をすべて買い上げ、価格を押し上げます。価格が下がるのは、売り手が市場を飽和させ、どんどん安く売らざるを得なくなるからです。トレーダーの最大の問いは：どちらが勝つのか？答えはレベルで探します — そこには、常に勝つ側である「スマートマネー」（銀行、ファンド、マーケットメイカー）の意図が現れるからです。

- レベルはどのタイムフレームでも機能しますが、TFが上位になるほどレベルは強く、市場のノイズは少なくなります。
- 分足チャートで価格が週足のレベルに接近したら、エントリーポイントを探す絶好の機会です：そうしたレベルからのトレードは、最も強力な利益をもたらします。

- 上のレベル付近で売り、下のレベル付近で買えば、あなたは常に強い側 — スマートマネーと同じ側にいます。
- 価格が強いレベルへ戻ってくるたびに、それはほぼ毎回、ほとんどリスクなしで大きく稼ぐチャンスです。

[スクリーンショット：異なるTFでのレベルの例を2〜3枚 — 旧版マニュアルより]

「強いレベル+ **Entry Points Pro** のシグナル」の組み合わせは、このシステムで最も強力なコンビネーションです。チャートを開き、価格が反転したレベルに印を付け、その近くで出るシグナルを取引してください。実践的なアドバイス：

- 1回のトレードで資金の**5%**を超えて使わないでください。
- 自分の行動とミスを分析してください。
- 疲れているときは取引せず、のめり込みすぎないでください。
- アナリストの話は控えめに聞き、自分の頭で多く考えてください。
- 自分が理解できるレベルとレンジだけを取引してください。

最後に、私の道のりを短くしてくれた、豊かな人々の**5つの「秘密」**を：(1) 秘密など存在しません — 行動する人と待つ人がいるだけです；(2) 裕福な人は給料のために働きません — 資産と複数の収入源をつくります；(3) 結果を生むのは行動だけです；(4) これは難しいことはありません — 難しさは、快適な場所に留まるために私たち自身がでっち上げるものです。お金にまつわる自分の破壊的な思い込みを紙に書き出して、燃やしてください（燃やすのは紙だけです。お隣の家は燃やさないように）；(5) トレード本を読みふけないでください — 混乱するだけです。私の経験を使ってください。それは目の前にあります。ジャック・マーはこう言いました：貧しい人々に共通するのはただ1つ — 人生のすべてが待つことに費やされている、と。行動してください。

著者より

「私を信頼してくださったことに心から感謝するとともに、トレーダーとして成長していく険しい道のりでのご多幸をお祈りします！十分な努力を注げば、誰もがこの分野のプロになれると確信しています。取引所取引のリスクを十分に認識し、実利的なアプローチとシステムの運用ルールの入念な習得だけが揺るぎない優位性を与えてくれる、ということをご理解いただけていると信じています。私のシステムは普遍的であり、市場が存在する限り機能し続けます：需要と供給という基本法則を利用しているからです。あなたはシステムのオペレーターであり、自分の決定に責任を負うのはあなただけです。幸運と安定した利益を！」

ボーナス：マーケットスキャナー

インジケーターを気に入っていただけたら、製品ページにレビューを書いていただけるととても嬉しいです：レビューはこのプロジェクトの大きな支えになります。感謝のしるしとして、**マーケットスキャナー**を差し上げます：多数の銘柄とタイムフレームを一度に分析し、**Entry Points Pro** が今まさにどこで最も良く機能しているかを1つの画面に表示するツールです。スキャナーを受け取るには、あな

たのレビューへのリンクを個人メッセージで送ってください — 折り返し、あなた専用バージョンの作成に必要な情報をご案内し、インストール手順とともにお送りします。

ご質問は個人メッセージへどうぞ — お一人おひとりにお答えしています。

敬具

ユーリー・オルロフ (Yury Orlov)